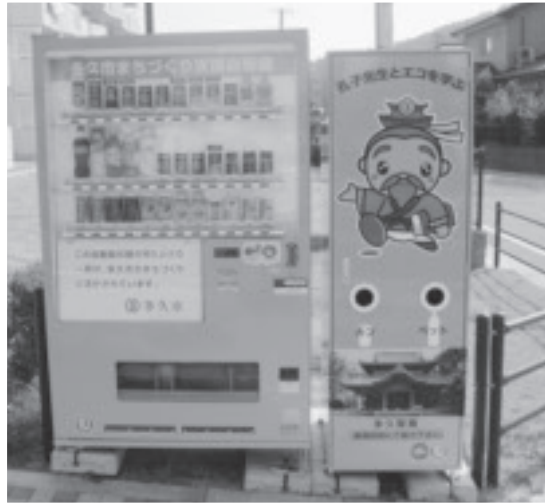




◀ 多久ステーション南ハイツに設置された
まちづくり支援自販機

まちづくり支援自動販売機を設置!!

市営団地に5台設置

多久市は10月28日、コカ・コーラウエスト株式会社の協力により、市営団地に5台の『多久市まちづくり支援自販機』を設置しました。

この支援自販機は、飲み物の売り上げの一部が多久市に寄付され、まちづくりに活用されるものです。

支援自販機のデザインは、「文教の里」をイメージするさわやかな緑を基調に孔子先生イメージキャラクター「多久翁さん」のイラストを正面に用いた多久市オリジナルデザインで、「多久聖廟」・「面浮立」・「多久山笠」・「孔子廟・釈菜」を描き、多久市の魅力をアピールしています。

除幕式では、同社の安藤茂弘ペンディング営業統括部九州支社長が「積極的に地域とともに歩む活動を行ってきた。多久市のまちづくりに役立てていただきたい」と期待を込めました。

秋の夕べ〜揚琴と多久物語

西溪公園紅葉まつり

孔子の里多久紅葉まつりの限定イベント『秋の夕べ〜揚琴と多久物語〜』が11月13日、寒鷺亭で行われました。

西溪公園ライトアップ実行委員会が点灯式に合わせて開いたもので、市内外から約140人が来場。ライトアップされた紅葉を背景に、市内の読み聞かせグループ「親と子のBookランド」が『多久物語』の紙芝居や、専称寺の「少式政資」にまつわる紙芝居を披露しました。その後、財団法人孔子の里の揚琴演奏家趙勇さんや琵琶演奏者王艶さんらの演奏に、キャンドルの光が揺らぐ室内を美しく澄んだ音色が包み込み、人々を心地よくしていました。

イベント最後には、揚琴に合わせてみんなで歌う時間もあり、来場者は「心が安らぐ、楽しいひと時だった」と秋の夕べを満喫していました。

また、多久聖廟のイベント広場では、イルミネーションと、産業技術学院の訓練生が東の原美化クラブのみなさんに指導を受けて作った60基の竹灯籠が人々を出迎えます。



▲揚琴の演奏を披露する趙勇さんらと聴き入る来場者たち

勤労感謝の日！ いつもお仕事 ありがとうございます

11/22



11月22日勤労感謝の日を前に、市内12保育園の園児のみなさんが市役所を訪れ、日頃の仕事をねぎらう感謝の花束を贈りました。「いつもお仕事がんばってくださってありがとうございます」と元気にあいさつし、横尾市長、牛島市議会議長などに花束を贈りました。園児達のプレゼントに市長は「しっかり頑張っている仕事をします」と、笑顔で答えました。

多久市教育の日！ 多久市学力向上 研究発表会行う

11/11



子どもたちの教育を考え、実践する日として設けた「多久市教育の日」に、西溪中校区で学力向上発表会がありました。西部小では小中学校の先生によるTT授業で算数の授業を、中部小ではICTを活用したTT授業を子どもたちが体験。西溪中では「学び合いの授業」を受けた生徒たちと参観した中学校授業研究会の先生たちの語る会も行われ、これまでの授業との違いについて、生徒からの意見を聞くなど取り組みを深めていました。